在学生の活躍

引地正之
（昭和 41 年度英米語学科卒・海外事情研究会 OB）

1908 年（明治 41 年）4 月 28 日 158 家族 781 名の日本人最初のブラジル移住者を乗せた笠戸丸が神戸港を出港してから今年は 110 周年の記念すべき年を迎えました。

一般財団法人日伯協会（神戸市中央区）では、笠戸丸が神戸港を出港した記念すべき日 4 月 28 日に神戸市海洋博物館で「日本人ブラジル移住 110 周年記念行事」を開催しました。



記念行事は、第一部ノンフィクション作家山根一眞（独協大学大学特任教授）氏による「人類滅亡危機世紀の貢献シナリオ～ブラジル日系人パワーに期待する次の 110 年～」の記念講演、第二部の記念式典では、多数の来賓・招待者を招き、一般財団法人日伯協会三野哲治理事長の挨拶に始まり、来賓の駐日ブラジル大使アンドレ・アラニーニャ・コヘーア・ド・ラーゴご夫妻、井戸兵庫県知事、神戸市長の祝辞の後記念式典は粛々と行われ、第三部記念パーティーでは 150 名の来賓・記念式典招待者が参加して盛大に執り行われました。



駐日ブラジル大使
アンドレ・アラニーニャ・コヘーア・ド・ラーゴご夫妻



ブラジル日本都道府県連合会
松下 大谷 瞳 マルリ氏（中央）

一般財団法人日伯協会の要請により、京都外国語大学学生（ブラジルポルトガル語学科・国際教養学科）がこの記念すべき行事の受付など進行のお手伝いをしました。学生達は、受付業務を手際よく行い、山根一眞氏の講演を熱心に聴き入り、記念式典に参列し、パーティーではブラジル大使を始め参加者と懇談をして、貴重な社会的体験をしました。

京都外国語大学からは、熊谷副学長が記念行事に出席されました。

次の学生が「日本人ブラジル移住 110 周年記念行事」の受付業務を担当しました。

＊ブラジルポルトガル語学科
澤邉優子（4 年次生、ヴィンクロ・ジ・ラチーノ代表）
松井爽香（4 年次生、ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）
イワサミドリ（4 年次生、ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）
大西香穂（3 年次生、ブラジルポルトガル語研究会・ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）

＊国際教養学科
伊藤峻雪（2 年次生、海外事情研究会）
恵島尚子（2 年次生、海外事情研究会）